



国際ロータリー第2740地区 長崎北東ロータリークラブ

2021～2022年
週報第5号
(通算2193号)
例会:令和3年8月4日

四つのテスト

言行は、これに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



会長 エレクト
田中 徳之

会長挨拶 浜本 義文

生命や資源探して 宇宙を大航海



宇宙をめざす世界の動きが活発です。火星には米中などの探査機が相次いで到着、生命の証拠が見つかるか注目が集まり、月では水などの資源を巡る駆け引きが本格化しています。新興国や民間企業などの新たなプレーヤーの台頭も著しくなり、太陽系全体へと人類の領域を広げる宇宙の大航海時代を迎えようとしています。2021年は宇宙探査に重要な一歩が記される年になりそうです。世界をリードする米国の探査は新たな段階に入り、火星から土壌などのサンプルを持ち帰ることを視野に入れて、「地球以外に生命は存在するか」との問いに迫ろうとしています。2月に火星に着陸した米国の探査機「パーシビアランス」はローバー(探査車)と呼ばれるタイプです。2012年に着陸して現在も活躍している「キュリオシティ」などと同様に車輪を備え、自力で走行しながら火星の様々な場所を調査できます。さらに今回は火星を飛行する小型ヘリコプターも搭載し、地球以外での初めての動力飛行にも成功して、これまでよりも広い範囲での確かな調査が可能になると期待されています。火星は35億年ほど前までは地球と同じように豊富な水があり、生命が誕生してもおかしくない環境だったと考えられます。パーシビアランスが着陸したジェゼロクレーターは、過去に水がたまり湖になっていたということで、生命の証拠が見つかる可能性が高いと期待される場所の一つです。ただ、探査機に搭載した分析装置だけでは能力に限界があるので、パーシビアランスは火星の土などのサンプルを集めて火星上に保管し、2030年ごろに別の探査機で地球に持ち帰り、地球の最新鋭の装置で詳しく分析する計画です。火星で生命が見つれば、広い宇宙の多くの星々に生命が存在する期待が高まり、科学的に重要な成果であるだけでなく、人類社会や文明に与えるインパクトも大きいです。本格的に火星への着陸と探査に成功したのは、1976年の米国の「パイキング1号」が初めてでした。その後も何台もの探査機や探査車を着陸させて実績を積み上げ、将来の有人探査に向けて大きくリードしています。日本のH2ロケットで打ち上げたアラブ首長国連邦の「アマル」も2月に火星に到着し、火星を周回しながら大気などの観測をしています。我国は火星の衛星「フォボス」に着陸してサンプルを持ち帰る「MMX」を2024年度に打ち上げる予定です。火星本体ではありませんが、米国の持ち帰るサンプルとも連携して、貴重な貢献が期待されます。火星での生命探しは新たな段階を迎えようとしています。会友の皆様も地球の喧騒を忘れて、夏の美しい夜空を眺めて、遠い宇宙への思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

【幹事報告】



幹事
西岡 克之

- 8月11日(水) 例会休会です。
- 8月18日(水)は、ガバナー公式訪問です。ネクタイの着用をお願いします。この日は、「出席率100%DAY」ですので、欠席される方はできるだけメイクアップをお願いします。
- 今年度の時津町少年ソフトボール大会は、10月16日(土)に開催予定となっております。応援参加を宜しくお願い致します。

今後の予定

- 8月11日(水) 休会
- 8月18日(水) ガバナー公式訪問
- 8月25日(水) イニシエーションスピーチ 吉田鉄友会友

ニコニコBOX



ニコニコ発表
東会友

ガバナー補佐 張本民雄様:長崎北東ロータリークラブの皆様、初めて訪問させて頂きました。本日のクラブ協議会 宜しくお願い致します。

浜本:第9グループガバナー補佐 張本民雄様、地区大会実行委員長 植松俊徳様、地区事務局長 高田昌一郎様、本日はご来訪、真にありがとうございます。ご指導宜しくお願い申し上げます。

西岡:張本ガバナー補佐 高田地区事務局長、植松地区大会実行委員長様の当クラブへの御来訪を歓迎いたします。どうぞゆっくりお過ごし下さい。

伊藤:厳しい暑さが続いております。皆様、水分補給を忘れずお過ごし下さい。本日もよろしくお祈りします。

岩永(信):①張本ガバナー補佐のご来訪を歓迎して。クラブ協議会よろしくお祈りします。②早くも地区大会のご準備でご来訪された長崎中央クラブの植松実行委員長、高田事務局長お疲れ様です。

大坪:先日の納涼例会、お世話になりました。楽しかったです。宝来軒様のおいしい料理で夏ものりこえられそうです。元氣いっぱいいでいけそうです!!

大原:張本ガバナー補佐のご訪問 歓迎致します。ご指導の程、お願い致します。

岡本:ガバナー補佐 張本様、地区事務局長 高田昌一郎様、植松俊徳様、大変お暑いな中、お疲れ様です。ご指導の程よろしくお祈りします。

鬼塚:張本民雄ガバナー補佐のご来訪、歓迎致します。よろしくお祈りします。

久保田:第9グループガバナー補佐の張本様、地区大会実行委員長の植松様、地区事務局長の高田様、御来訪ありがとうございます。本日はよろしくお祈りいたします。※張本節、期待してませ〜!!

高木:張本民雄ガバナー補佐、ご来訪有難うございます。本日は御指導 宜しくお願い致します。

辻村:ガバナー補佐 張本様、地区大会実行委員長 植松様、地区事務局長 高田様、本日は宜しくお願い致します。

花田:草野会友と私の母校「長崎商業野球部」が甲子園に出場します。応援に行きたかったのですが、嫁から応援に行ったら家にあげないと言われたので、あきらめました。皆さん 長商の応援よろしくお祈りします。

浜中:張本ガバナー補佐、遠い所をおいでいただき、ありがとうございます。御指導宜しくお願いします。9年前、補佐の立場で何度も五島に行った事が思い出されます。いろいろな事がありました。勉強になりました。

東:日本-スペイン戦(サッカー) 残念でしたが、3位決定戦、頑張れ日本!!

前田、南里:本日は第9グループガバナー補佐 張本様、高田様、植松様、ご来訪ありがとうございます。宜しくお願い致します。

丸木:張本民雄ガバナー補佐のご来訪を歓迎致します。本日のクラブ協議会、ご指導宜しくお願い致します。

森(義):①張本第9グループガバナー補佐、ご来訪有難うございます。本日のクラブ協議会、良き助言をお願いします。②オリンピック史上最高19個の金メダル、若いアスリートの活躍に感動しています。一方、大会前 根拠なき中止を煽った大手メディアの手の平返し、節操の欠如を反省して欲しい。

小計: 19名/¥47,000

累計: 63名/¥157,000

クラブ概要



幹事 西岡克之

創 立 1974年4月30日
承 認 1974年5月22日
例 会 場 長崎新聞文化ホール
「アストピア」
例 会 日 毎週水曜日(12:30～13:30)
事 務 局 長崎市目覚町8-11-301
チャーターメンバー 22名(現会員0名)

現在までの入退会者数 入会者数 288名
退会者数 248名

在籍会員数 現在会員数 39名 正会員 39名

前年度出席率 79.3%

前年度100%出席者数 11名

平均年齢 61.95歳(令和3年7月1日現在)

会長エレクト



田中徳之

今期の会長エレクトとなり重責を感じております。エレクトとは会長に成る為の準備期間だと基本的には思っております。今期の浜本会長をサポートし皆様のロータリー活動が円滑に遂行できるよう、協力していきたいと考えております。毎月初めに確認しあう(四つのテスト)が有ります。この四つのテストの意味を考えると、仲間を信じて良き友情を継続していくことだと自分なりに解釈しております。今期で48年創立となる我が長崎北東ロータリーは50周年に向け会員増強し活動を活発にしていくことが大切であろうと考えます。奉仕の理念を持ち会友全員でワンステップを目指すことを目標にしていきたいです。このような大役は初めてですので皆さんご指導宜しくお願い致します。

クラブ管理運営部門



理事 浜中洋

クラブ管理運営部門には、職業

分類・会員選考委員会、ロータリー情報委員会、出席委員会、親睦活動委員会、プログラム委員会と5つの委員会から構成されています。クラブ管理運営部門の役割は、クラブの円滑な運営を助けることにあります。そこで、会長の

方針に従って、各委員会の委員長とコミュニケーションをとり、ロータリアンの皆様が、楽しく充実感をもって、活力あるロータリーライフを送ることができるよう努力致します。コロナが終息するまでは、行動に制限がありますが、蔓延防止対策を充分にとって活動していきたいと思致します。

会員増強部門

代読 西岡克之

(理事 山口裕) 当クラブ(長崎北東ロータリークラブ)は、2024年に創立50周年を迎えます。“前期猪股会員増強部門理事”の活動方針と同じく、今期も『会員増強プロジェクトチーム』を継続しまして、チームをもって“長崎北東ロータリークラブ

にふさわしい入会見込者の推薦”を更に強力に行っていただきたいと思致します。現在の会員数は、ピーク時の約4割減少という危機的状況にあります。本年度は、前期理事の意向に沿い、3年後の“50周年という記念すべき年”に“ピーク時の会員数70名”を目指して「50-70」運動を継続させていただき、会員増強活動を展開して参りたいと思致します。会友の皆様も、是非今期も引き続きご協力の程よろしくお願い致します。※新入会員:花田潔会友→猪突猛進/森正会友→愛の不時着/安田智明会友→口先三寸

公共イメージ部門



理事 南里敏洋

公共イメージ部門です。メンバーは

副理事に猪股会友、委員に東会友の計3人の少数精鋭の構成になります。本部門は設立5年目に入ります。ロータリー戦略計画の優先事項の中に「公共イメージと認知度の向上」が上げられ、今、最も国際ロータリーとしても

力を入れている分野です。我々が感じている以上に社会のロータリーへの認知度は低いものがあります。昨年度はコロナウイルスの影響によりさまざまなイベントが中止となりました。本年度も厳しい状況が見込まれる中、コツコツと、まずは ①ロータリーとは何か? ②ロータリアンとはどのような人か? ③ロータリーとはどのような活動をしているのか? を広く世間の人々に知っていただけるように、会友皆様のご協力が不可欠となります。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。そのような中で、まずは①のロータリーとは何か?と言われて自問自答しました。即答できませんでした。そこで2年前の10月の例会後に開いていただいた勉強会の際に岩永信昭会友にいただいた「ロータリー、その歴史、哲学、理論」の資料によりますと、超我の奉仕=最もよく奉仕するもの最も多く報いられる。と言うこと。②ロータリアンとはどのような人か?に関しては「四つのテスト、言行はこれに照らしてから」なのかなど。③のロータリーとはどのような活動をしているのか?は一言でお伝えするとなれば、まさに奉仕活動かなと思っております!そのような感じで、一年間よろしくお願いいたします。

ロータリー財団部門



理事 猪股賢一郎

①ロータリー財団への年次寄付

目標1人当たり 150ドル/年間 ②ポリオ根絶活動への支援目標 1人当たり 30ドル/年間

③財団の活動全般について、卓話等により理解を深める事業を行う。7月21日(水)のクラブ協議会においてロータリー財団年次

寄付は1人当たり100ドルということでご理解頂きました。今後は更なる上積みを図っていききたいと思います。